

Environmental and Social Report

2024 / 7 / 11
(2023/06/01~2024/05/31)

ECO ACTION 21

目次

- 1.会社概要
- 2.環境経営ポリシー
環境経営方針
- 3.事業内容
- 4.環境管理組織図
- 5.環境目標と環境活動計画(2023年度)
- 6.環境目標の実績と環境活動計画の評価
- 7.環境負荷の推移
- 8.環境関連法規の違反・訴訟等の有無
- 9.総括責任者による全体評価と見直し
- 10.次年度の環境目標と環境活動計画(2024年度)
- 11.環境活動内容



測量・TS・DM・情報処理・GIS・BCP支援

大同情報技術株式会社

1. 会社概要

名 称 : 大同情報技術株式会社
代 表 者 : 山 田 洋
従 業 員 数 : 50人 (アルバイトを含む)
売 上 げ 高 : 5億6千万円 (2023年度)
認 証 登 録 範 囲 : 測量及び情報処理業務

東京本社
〒166-0012
東京都杉並区和田3-54-5
T E L : 03-3316-8321
F A X : 03-3316-5252
創 立 : 昭和36年6月21日
資本金 : 3千万円
登 録 : 測量業登録(14)-1789号

大田支店
〒143-0024
東京都大田区中央8-13-2-406
T E L : 03-6303-5497
F A X : 03-6303-5498

2. 環境経営ポリシー

当社は、主力事業を測量調査及び情報処理とする企業であり、生産形態は主に人材・技術に頼るところから、エネルギーや有害物質等の排出量に於いて大掛かりな減少の効果は期待できません。

しかしながら電子機器を多用し、図面や帳票など紙資源を多く利用することから、廃棄物の処理等、環境への影響を与えている責任を真剣に受け止め、今私たちにできる環境に対する最大限の配慮を行います。

また、当社の事業は公共事業によるところが多く、社会の変化に対し進取の気概を持って取り組み、社会の発展や地域社会に貢献する責務があると考えます。

そのため、当社で働く全ての従業員が本計画により、地域環境・地球環境に配慮し、環境保全活動推進の一翼を担う意識及び実践力の向上を目指すため、次に示す環境方針を定めます。

環境経営方針

1. 当社は、環境に対する法規制を正しく理解し、遵守のために要求事項を確実に実行します。
2. 当社は、資源の利用方法を徹底的に検討し、確実に無駄な資源を削減します。
3. 当社は、電力、ガソリン等のエネルギーの消費量を徹底的に検討し、確実に無駄な資源を削減します。
4. 当社は、環境改善及び評価手法等の知識・技術力を高め、事業を通じ社会に還元します。
5. 当社は、家族・地域社会に活動の実態を公表し、環境コミュニケーションに取り組むことにより環境保全活動を行います。
6. 当社は、環境に配慮した商品をお客様にご提供するとともに、環境保全に協力する体制を確立していきます。
7. 当社が利用するすべての消耗品や備品は、環境を配慮した商品を優先購入します。
8. 上記内容を達成するために環境経営システムを確立し、PDCA（Plan-Do-Check-Act）モデルを採用したプロセスアプローチに基づいて継続的改善を行い、これを維持します。
9. 当社は、代表取締役を環境経営に関する統括責任者とし、環境管理責任者を長とする環境管理委員会を常設し、環境管理の実施状況の確認及び改善策の討議を行います。また、事故対策委員長を長とする事故対策委員会を併設し、社内・外における事件・事故にすばやく対応し、必要な対策を迅速に実施できるよう積極的な活動を行います。

本方針は代表取締役によって承認され、
当社及び重要関係先の従業員全てに周知徹底します。



2017年6月1日
山 田 洋

3. 事業内容

●測量

基準点測量、用地測量、現地測量、路線測量、道路敷地測量、境界確定、河川測量、道路台帳測量、地籍調査、三次元レーザースキャナーによる測量等

●調査・計測

固定資産関連、Shapeファイル作成、デジタルトレース・地図の数値化、都市計画関連、防災・災害関連、補償業務、赤外線サーモカメラによる構造物調査、航空写真撮影等

●情報処理

システム構築、GIS関連、電子化、地図調製、図面作成 等

当社は測量・都市計画などのコンサルタントとして、長く官公庁や地方自治体の公共事業に携っており、社会の変化に対応した事業・技術を提案しています。

2009年にはBCMS規格であるISO22301（事業継続マネジメント）を測量業界のパイオニアとしていち早く取得したほか、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）やEA21の認証も受けており、多種多様な視点による管理体制のもと業務を遂行し、企業の価値向上ならびに社会的責任として、今後も信頼のおける取組を展開していきます。

- 1.災害復旧・都市計画のための事前事後調査(木造建築密集地域調査、基準点改測等)
- 2.航空・地上測量技術、システム設計、プログラム技術の融合
- 3.GISを中心にしたあらゆるシステム開発の業務実績の蓄積
- 4.技術・実績を結集し、創意工夫により、最適な手法の提案
- 5.自社で開発した道路台帳支援システムによる調書作成

4. 環境管理組織図

当社は環境管理委員会事務局が中心となり、環境経営システムを運用・管理しています。2010年更新審査時に横浜本社、2011年中間審査時に大田支店を取得範囲として登録し、全事業所・全組織で環境活動に取り組んでいます。

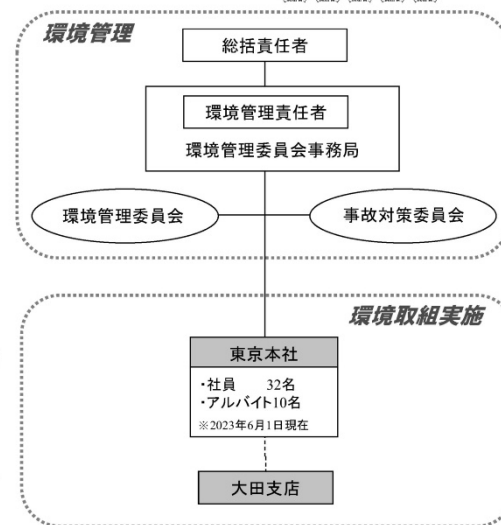
また2018年度には環境活動10周年を記念し、中央事務局より表彰を受けております。

2023年度 環境管理組織図

ECA02-E01

環境管理委員会構成員	
総括責任者	代表取締役社長 山田 洋
調査計測SECT 教育担当責任者	チームマネージャ 清水 元氣
事故対策委員長	
経営推進本部 経理・総務担当責任者	取締役 飯田 政江
測量調査SECT 教育担当責任者	チームマネージャ 四間 重信
戦略推進室 教育担当責任者	CSR推進役 森田 裕一
環境管理責任者	成田 匡希

環境管理委員会事務局構成員	
環境管理責任者	成田 匡希
環境管理責任者 戦略推進室	島田 未歩

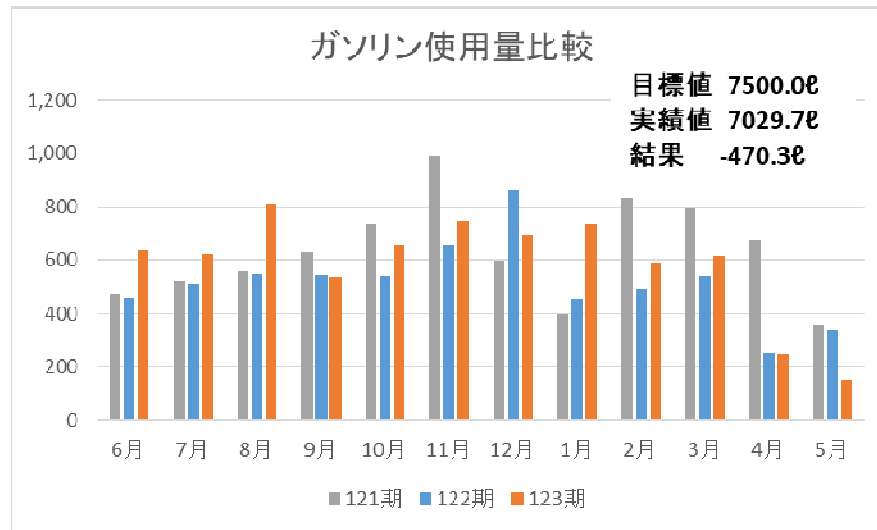


5. 環境目標と環境活動計画（2023年度）

項目名		単位	基準値	中期目標（基準値より11%削減）			目標達成のための具体的な活動計画	頻度
				2023年度目標 (9%削減)	2024年度目標 (10%削減)	2025年度目標 (11%削減)		
廃棄物排出量削減	事業系一般廃棄物の削減 (可燃ごみ)	Kg／年	1048	954	943	933	可燃ごみ排出量の計測と状況報告	月1回
							ごみの分別・処分状況の確認	随時
	(不燃ごみ)	Kg／年	328	298	295	292	不燃ごみの計測と集計	月1回
							ごみの分別・処分状況の確認	随時
	紙の使用量削減	円／年	825,840	751,514	743,256	734,998	紙使用量の計測と状況報告	随時
							印刷ミスの削減と両面・集約印刷の推進	随時
電子化による資源利用の削減							随時	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	kWh／年	47,445	47,445			電力使用量の計測と状況報告	月1回
							昼休憩の消灯徹底	随時
							エアコン温度管理、不要時OFF	随時
							各部署による残業時間の管理	随時
							不使用機器の電源チェック	随時
	ガソリン使用量の削減	ℓ／年	7,500	7,500			ガソリン使用量の計測と状況報告	月1回
							公共交通機関、自転車の積極利用推進	随時
							ACO※1による非効率運転のチェック	随時
CO2排出量の削減	Kg／年	39,051	39,051			電力・ガソリン消費量のチェック	月1回	
環境コミュニケーションの実施		実施率%	100	100	100	100	環境アンケートの実施	随時
							総合訓練・定例会議での報告と啓発	随時
環境に配慮した商品提供		実施率%	100	100	100	100	省資源・環境配慮の項目を業務計画書に記載する	随時
グリーン対象商品の購入		購入率%	100	100	100	100	備品購入前にエコ商品の有無確認	随時
							まとめ買いによるグリーン購入率アップ	随時
節水の呼びかけ実施		実施率%	100	100	100	100	掲示板での定期的な呼びかけ実施	随時

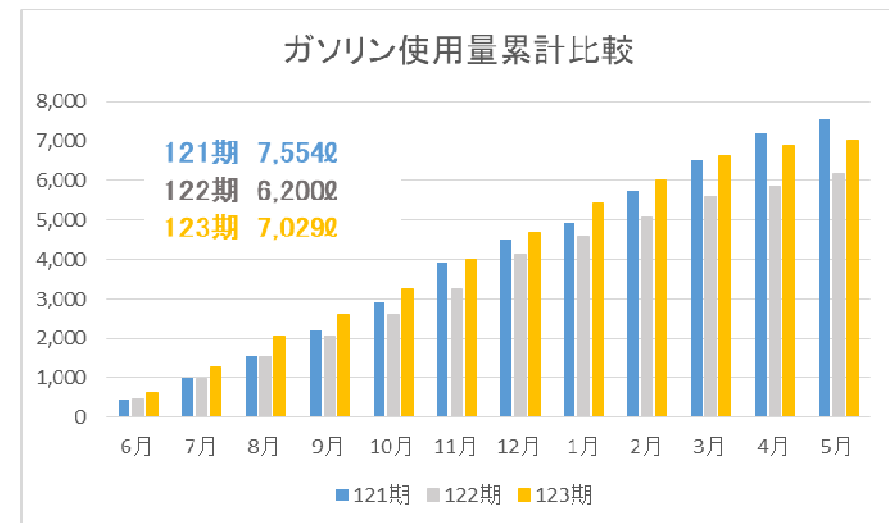
※1 車両運行管理システム
 ※購入電力の二酸化炭素排出係数(0.505kg-CO2/kWh)

6. 環境目標の実績と環境活動計画の評価

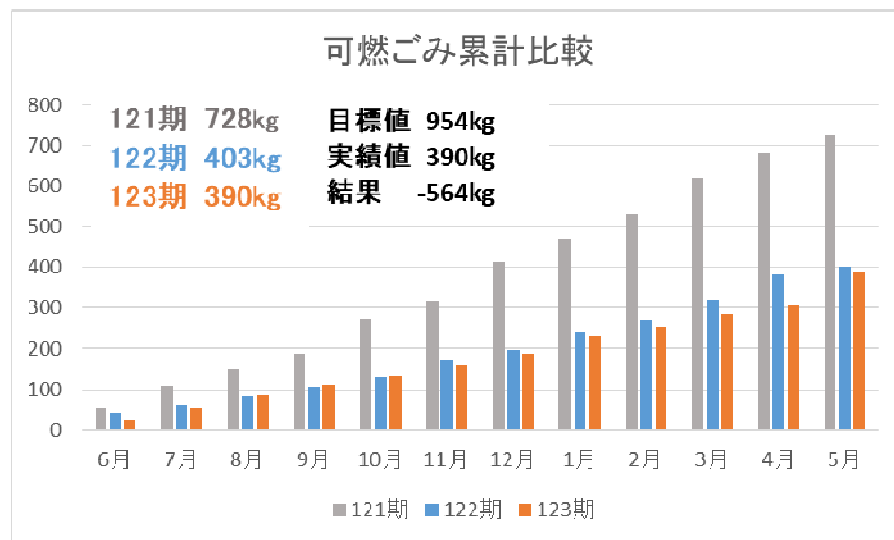


ガソリン使用量は目標値を下回り適合となった。
現場作業が多かったこともあり、ガソリン使用量の多い月が続いたが、現場作業が減る4月～5月には使用量を抑えることが出来た。

車の使用頻度は作業内容に左右されるため、引き続き公共交通機関や自転車をうまく活用することでガソリン使用量の削減を目指し、車両使用時には日除けやアイドリングを止める等して燃費の効率化に努める。



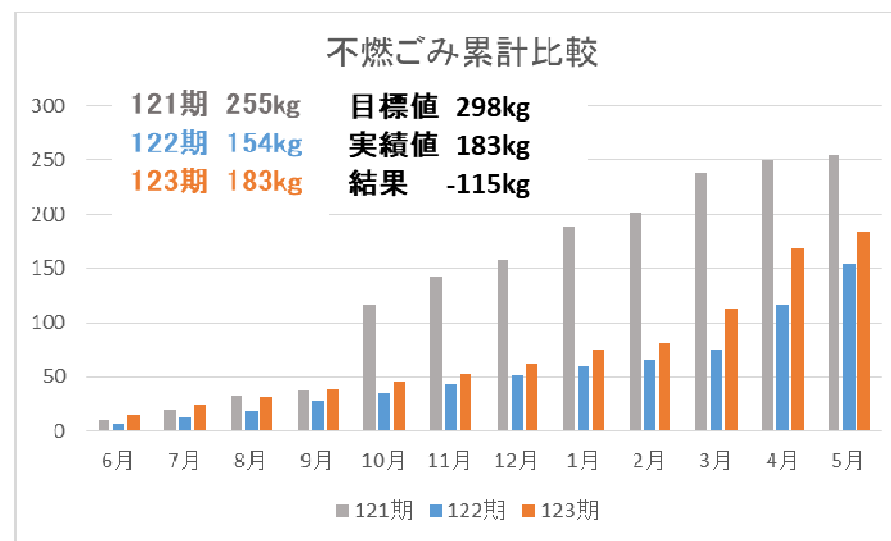
6. 環境目標の実績と環境活動計画の評価



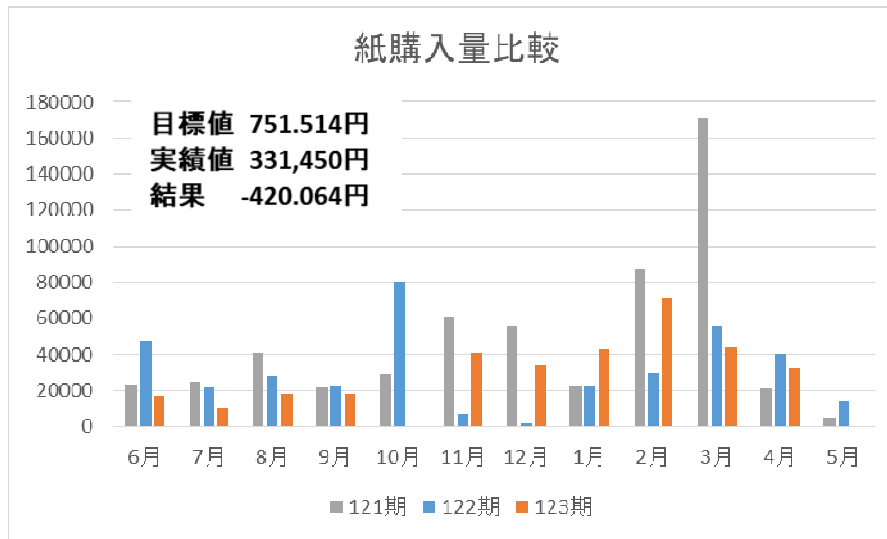
昨年度より一般ごみ(可燃ごみ)は減少、不燃ごみは増加となったが、ともに目標値内であり適合となった。

ごみの内訳の多くは紙くず、包装・梱包材であり、トナー、ロール紙等の梱包材はメーカー回収を利用している。

マイラーロールに関しては、機密情報を再生不能な形に処理し、不燃ごみとして廃棄している。



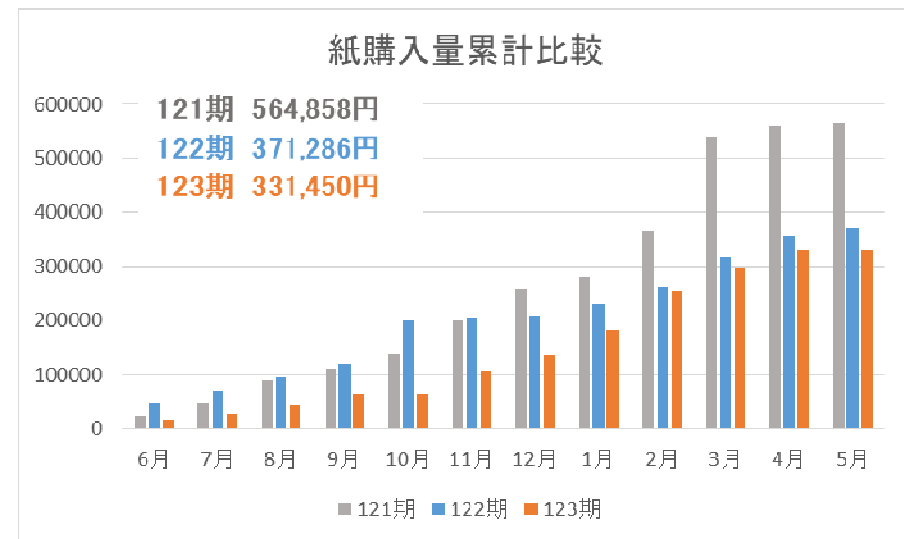
6. 環境目標の実績と環境活動計画の評価



コピー用紙、ロール紙
マイラーロールを含む

コピー紙、ロール紙の購入量は目標値を大幅に下回り、適合となった。

紙の購入量は業務数や成果品の仕様内容によって大きく変動するものであるため、引き続き電子化の提案、印刷ミスの削減等を促すことで抑える努力をする。



6. 環境目標の実績と環境活動計画の評価

項目名		単位	基準値	2023年度 目標	2023年度 実績	差分	評価
廃棄物排出量削減	事業系一般廃棄物 の削減 (可燃ごみ)	kg/年	1048	954	390	-564	○
	不燃ごみ の削減	kg/年	328	298	183	-115	○
	紙の使用量削減	円/年	825,840	751,514	331,450	-420,064	○
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	kWh/年	47,445	47,445	37,105	-10,340	○
	ガソリン使用量 の削減	ℓ/年	7,500	7,500	7,030	-470	○
	CO2排出量の削減	kg/年	39,051	39,051	35,046	-4,005	○
環境コミュニケーションの実施		実施率%	100	100	100	100	○
環境に配慮した商品提供		実施率%	100	100	100	100	○
グリーン対象商品の購入		購入率%	100	100	100	100	○

6. 環境目標の実績と環境活動計画の評価

項目名	単位	基準値	2021年度 目標	目標達成のための具体的な活動計画	頻度	評価	
環境コミュニケーションの実施	実施率%	100	100	環境アンケートの実施	随時	○	社内で環境に対する認識をアンケートを通じて共有している。
				会議や朝礼で啓発・研修・報告	随時	○	社内回覧板や朝礼での周知のほか、社内会議・総合訓練で社内環境システムの周知を行った。
環境に配慮した商品提供	実施率%	100	100	提出する仕様書や計画書に環境配慮に関する項目を記載し提出する	随時	○	当社が提案営業する事案では、環境に配慮した提案を行った。 また、提出する業務計画書では、環境配慮の項目を記載し提出した。
グリーン対象商品の購入	購入率%	100	100	備品購入前にエコ商品の有無確認	随時	○	グリーン購入率100%となった。
				まとめ買いによるグリーン購入率アップ	随時	○	
節水の呼びかけ実施	実施率	100	100	朝礼での定期的な呼びかけ実施	随時	○	手洗い、歯磨き、洗車、トイレの流水など節水について注意喚起した。

「環境コミュニケーション」については、毎年の総合訓練や会議時、積極的に環境管理について社内に周知した。対外的な面では「環境に配慮した商品提供」の項目を盛り込んだ作業計画書を提示している。

「グリーン購入」については引き続きグリーン購入法適合の文房具を優先的に購入している。

ビルテナントとして共同購入している水資源については独自の水使用量が把握できないが、節水の呼びかけを定期的に行なう事で、使用水量などに関心を持ってもらうようにしている。

7. 環境負荷の推移

項目名		単位	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	傾向
廃棄物排出量削減	事業系一般廃棄物の削減（可燃ごみ）	kg／年	728	403	390	減少
	不燃ごみの削減	kg／年	255	154	183	増加
	紙の使用量削減	円／年	564,858	371,286	331,450	減少
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	kWh／年	41,108	40,419	37,105	減少
	ガソリン使用量の削減	ℓ／年	8,389	6,201	7,029	増加
	CO2排出量の削減	kg／年	37,536	34,792	35,046	増加
業務物件数	企画営業	件／年	29	29	20	減少
	測量調査		60	64	49	減少
	調査計測		33	28	27	減少
	合計		122	112	96	減少

不燃ごみが増加となった。またガソリン使用量が増えたことにより、CO2排出量も増加した。
可燃ごみや紙の使用量、電力使用量は3年連続で減少しており、数年間取り組んできた「勤務時間の短縮等、労働環境の改善」の成果や、テレワークの導入によるものと考えられる。

8. 環境関連法規の違反・訴訟等の有無

当社の事業内容に関連する環境関連法規は以下のとおりであり、適正に遵守されています。環境関連法規の違反及び行政からの指摘、訴訟等は過去3年間ありません。現場作業においても同様です。

- 環境基本法
- 地球温暖化防止法
- 環境教育推進法
- 廃棄物処理法
- PCリサイクル法
- 自動車リサイクル法
- 自動車NOx・PM法
- 家電リサイクル法
- グリーン購入法
- 消防法
- 下水道法
- フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律
- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 杉並区環境基本条例
- 神奈川県生活環境の保全に関する条例
- 横浜市生活環境保全条例
- エコアクション21ガイドライン2017年版

9. 総括責任者による全体評価と見直し

2023年度の実績結果と今後の方針

①環境経営方針の継続

・環境経営ポリシー及び環境経営方針は適切であり、今後も継続的に取り組む。

②実施体制について

・組織については昨年度と同様の体制で取り組む。

③環境経営目標及び計画について

・新たに車を1台購入した。目標値が適切であるか注視しておくこと。

・電気使用量については3期連続で減少しており、勤務時間の短縮やテレワークの導入等、労働環境の改善が伺える。引き続き利益向上との両立を目指す。

・活動計画として追加した【「環境に配慮した商品提供」対象となる案件の受注】を引き続き遂行すること

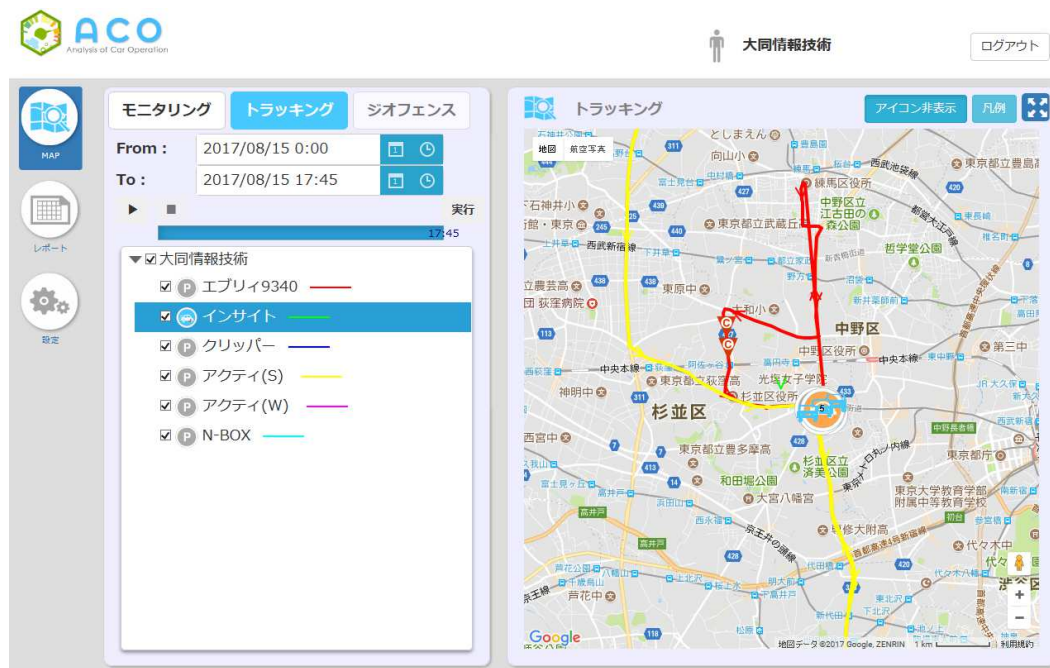
・企画営業部門の提案営業により、紙資料の電子化業務を多く受注できている。環境に配慮した商品提供とは直接的に関係するものではないが、ペーパーレス化が進むことで無駄な資源の削減に繋がっていくと考えられるため、今後も引き続き受注を目指す。

10. 次年度の環境目標と環境活動計画（2024年度）

項目名		単位	基準値	中期目標（基準値より12%削減）			目標達成のための具体的な活動計画	頻度	責任者
				2024年度目標 (10%削減)	2025年度目標 (11%削減)	2026年度目標 (12%削減)			
廃棄物排出量削減	事業系一般廃棄物の削減 (可燃ごみ)	Kg/年	1048	943	933	922	可燃ごみ排出量の計測と状況報告	月1回	環管
							ごみの分別・処分状況の確認	随時	環管
	(不燃ごみ)	Kg/年	328	295	292	289	不燃ごみの計測と集計	月1回	環管
							ごみの分別・処分状況の確認	随時	環管
	紙の使用量削減	円/年	825,840	743,256	734,998	726,739	紙使用量の計測と状況報告	随時	環管
							印刷ミスの削減と両面・集約印刷の推進	随時	環管
二酸化炭素排出量削減							電子化による資源利用の削減	随時	営業
	電力使用量の削減	kWh/年	47,445	47,445			電力使用量の計測と状況報告	月1回	環管
							屋休憩の消灯徹底	随時	環管
							エアコン温度管理、不要時OFF	随時	環管
							各部署による残業時間の管理	随時	各S E C T
							不使用機器の電源チェック	随時	環管
	ガソリン使用量の削減	ℓ/年	7,500	7,500			ガソリン使用量の計測と状況報告	月1回	環管
							公共交通機関、自転車の積極利用推進	随時	各自
環境コミュニケーションの実施	CO2排出量の削減	Kg/年	39,051	39,051			ACOによる非効率運転のチェック	随時	環管
							電力・ガソリン消費量のチェック	月1回	環管
環境に配慮した商品提供	実施率%		100	100	100	100	環境アンケートの実施	随時	環管
							総合訓練・定例会議での報告と啓発	随時	環管
グリーン対象商品の購入	実施率%		100	100	110	120	対象となる案件の受注	随時	環管
							省資源・環境配慮の項目を業務計画書に記載する	随時	環管
グリーン対象商品の購入	購入率%		100	100	100	100	備品購入前にエコ商品の有無確認	随時	環管
							まとめ買いによるグリーン購入率アップ	随時	環管
節水の呼びかけ実施	実施率%		100	100	100	100	掲示板での定期的な呼びかけ実施	随時	環管

※車両運行管理システム
※購入電力の二酸化炭素排出係数(0. 505kg-CO2/kWh)

11. 環境活動内容



ACO:車両運行管理システム導入

作業車の位置情報や走行距離、急発進・急ブレーキ等の非効率運転などを監視・記録するモニタリングシステムを導入することで、ガソリン使用量の削減を目指します。



ハイブリッドカー購入
エコドライブモードを使用し、ガソリン使用量を削減します。



両面印刷コピー機導入

2016年度は二台の印刷機を両面印刷・集約印刷が可能なものに入れ替えました。

11. 環境活動内容

ごみ分別方法の周知



廃棄物分別の徹底



ハイブリッド車へ買換え



低燃費車への買換え



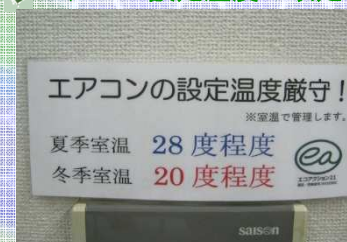
エアコン直接風対策



ファイルの再利用



エアコン設定温度の改定



空気循環用扇風機



産業廃棄物保管場所の表示

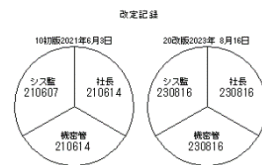


節水の呼びかけ



ロール紙の芯回収ボックス





お問い合わせ先

測量・TS・DM・情報処理・GIS・BCP支援

大同情報技術株式会社

本社 〒166-0012 東京都杉並区和田3-54-5
TEL 03-3316-8321 FAX 03-3316-5252
事業所 大田支店

<http://www.daido-it.co.jp>

